

第5次田上町総合計画

町民アンケート 集計結果

アンケート調査の結果

(1) 目的

平成 23 年度に策定する「第 5 次田上町総合計画」に町民の意見を広く反映させるために実施しました。

(2) 対象数・配布方法等

- ・一般住民（約 2,000 人）対象【性別、地区、年代を考慮した無作為抽出】
(郵送配布、郵送回収)

(3) 配布・回収状況

回収数：平成 23 年 7 月末現在

	配布日	締切日	配布数	回収数	回収率
町 民	H23. 6. 13.	H23. 6. 30.	2,000	880	44.0%

(4) 地区区分の考え方

町民アンケートの問 4（「お住まいの地区」）に関する 5 つの選択肢において、それぞれの該当地区名を分析する上で便宜的に以下のとおり設定しました。

町民アンケート「設問 4」の選択肢	分析上の地区区分
1. 本田上、原ヶ崎、川ノ下、上野	田上南地区
2. 山田、中店、中店嶋、湯川	田上北地区
3. 後藤、曾根、上横場、下横場、川前、保明嶋、 下中村、上中村、四ツ合、千苺、石田	川通地区
4. 坂田、上吉田、川船河	羽生田南地区
5. 羽生田、清水沢、下吉田、青海	羽生田北地区

(5) 集計・分析結果

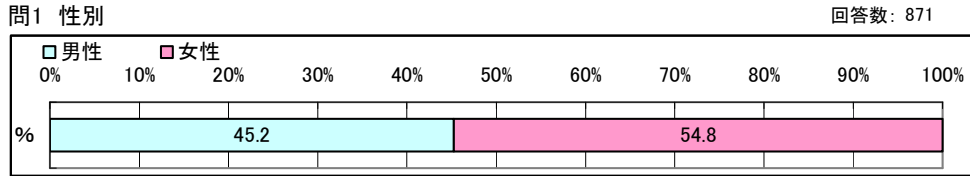
町民アンケートの分析結果を次ページ以降に示します。

— 目 次 —
町民アンケート 3

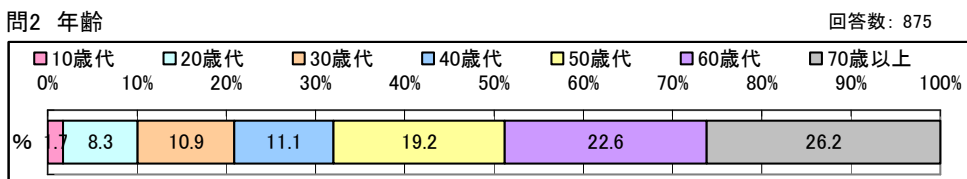
■ 町民アンケート

1. あなたご自身のことについて、おたずねします

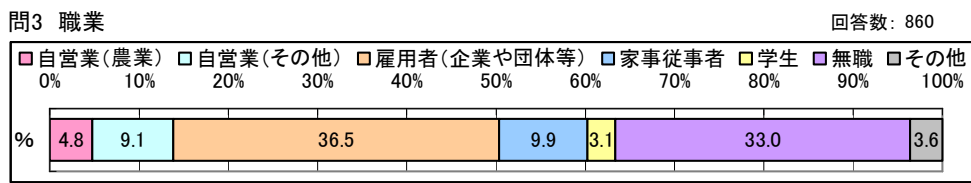
問1. あなたの性別をお答えください。



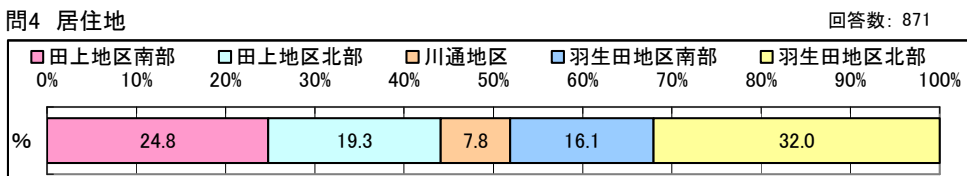
問2. あなたの年齢をお答えください。



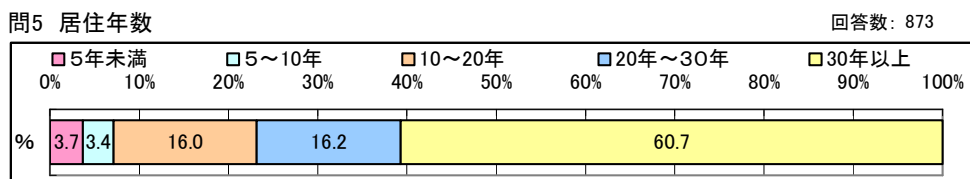
問3. あなたの主な職業は次のうちどれですか。



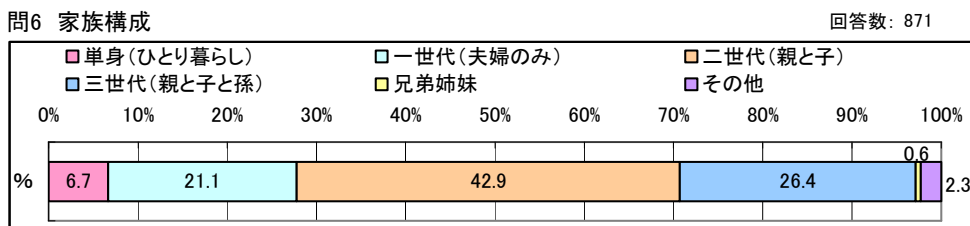
問4. あなたがお住まいの地区をお答えください。



問5. あなたは、田上町内にお住まいになってから、どれくらいになりますか。通年でお答えください。



問6. あなたのご家族の構成は次のうちどれですか。



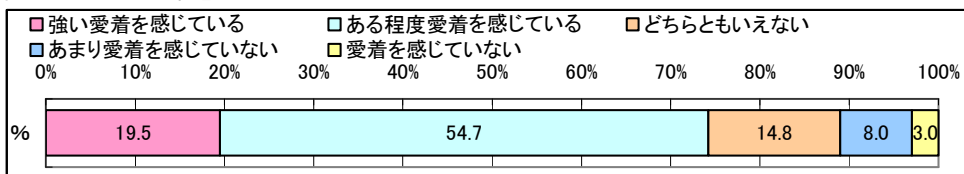
2. 田上町での住み心地について、おたずねします

問7. あなたは田上町に愛着を感じていますか。あてはまるもの1つだけに○をつけてください。

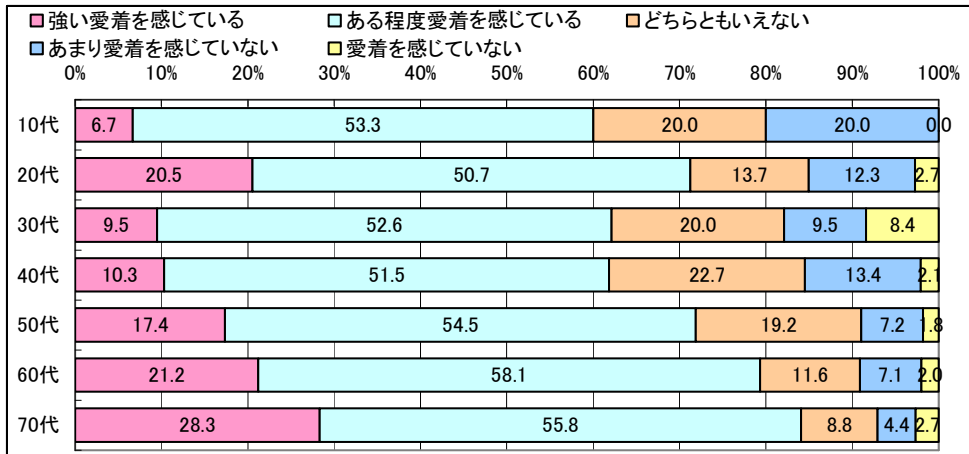
- 全体では、「ある程度愛着を感じている」が54.7%、「強い愛着を感じている」が19.5%で、70%以上が何らかの愛着を感じています。
- 年齢別では、10代・30代・40代で愛着を感じる比率が60%程度で相対的に低く、50代以降は高齢になるほど愛着が強くなる傾向がみられます。また、20代においても、50代と同等の比率で70%超が愛着を感じています。
- 地区別では、川通地区と田上南地区で愛着を感じる比率が80%程度と高く、逆に田上北地区で70%を下回ります。

問7 田上町に愛着を感じるか

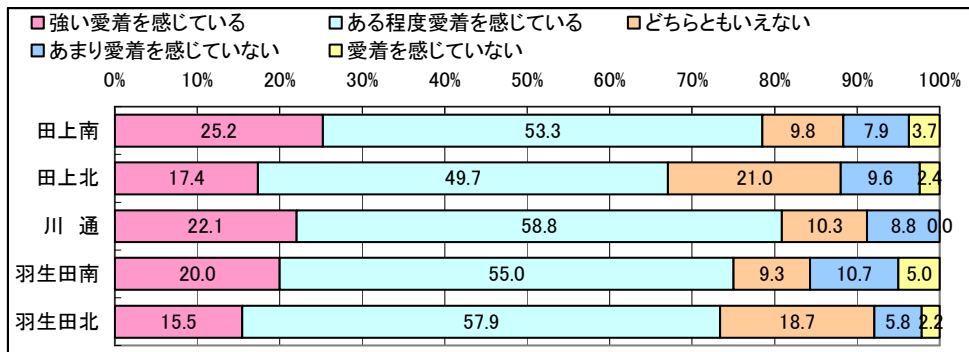
回答数: 872



(年齢別)

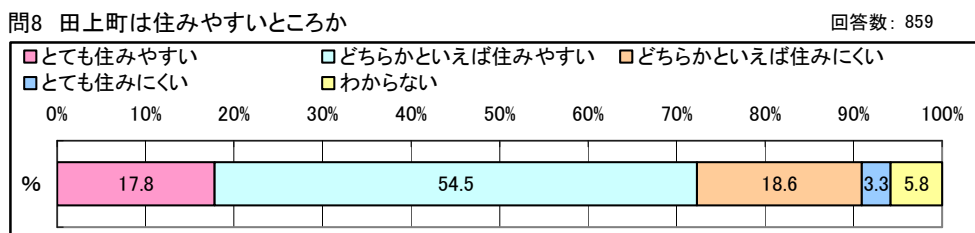


(地区別)

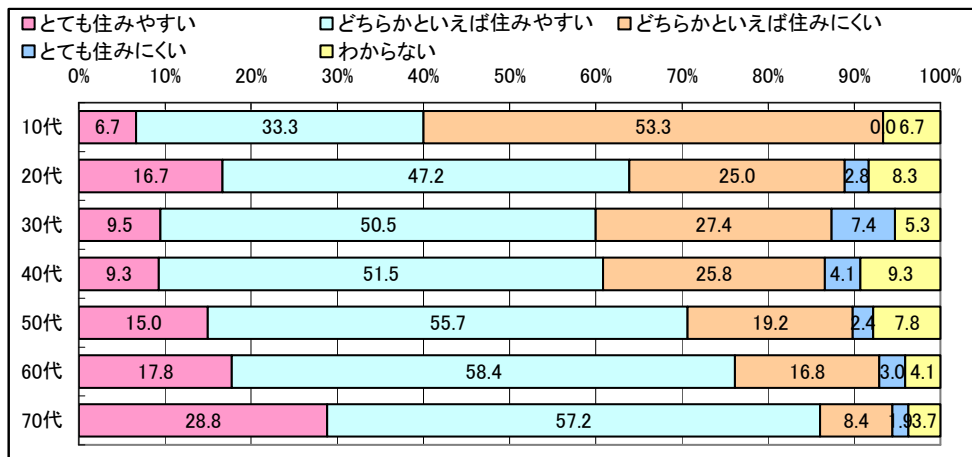


問8. あなたは、田上町は住みやすい町だと思いますか。あてはまるもの1つだけに○をつけてください。

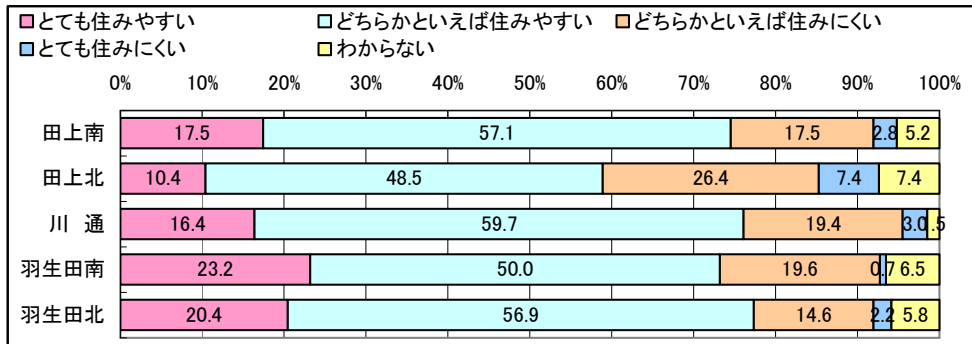
- 全体では、「どちらかといえば住みやすい」が 54.5%で過半数、「どちらかといえば住みにくい」が 18.6%、「とても住みやすい」が 17.8%となっています。70%以上が住みやすいとしています。
- 年齢別では、高齢層になるに従い「住みやすい」とする比率が高くなる傾向にあります。ただし、20代ではこの比率が60%を超え、30代・40代の比率を上回ります。
- 30代で「とても住みにくい」とする比率が7.4%と他の年代を大きく上回ります。
- 地区別では、田上北地区で「住みやすい」とする比率が60%弱と低く、「とても住みにくい」とする比率が7.4%と相対的に高い状況です。



(年齢別)

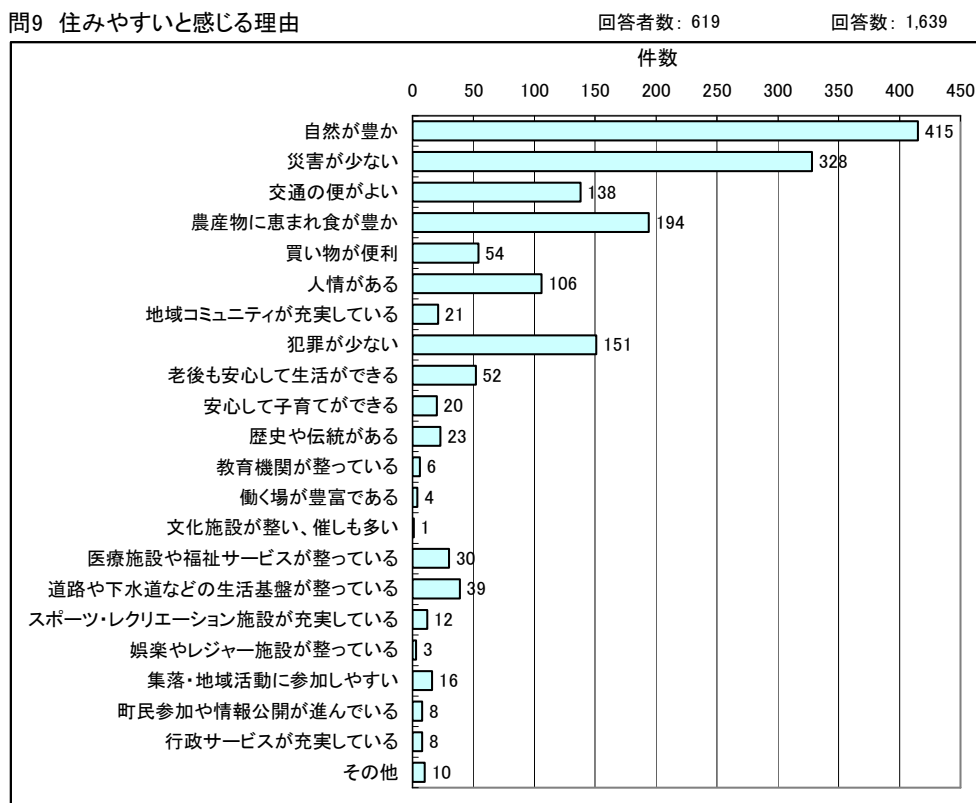


(地区別)

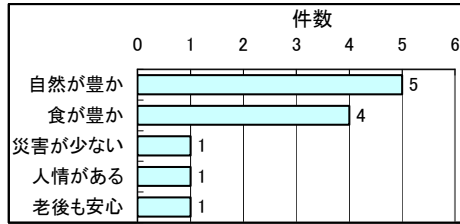


問9. 前問（問8）で、1または2に○をつけられた方におたずねします。住みやすいと感じる理由について、次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

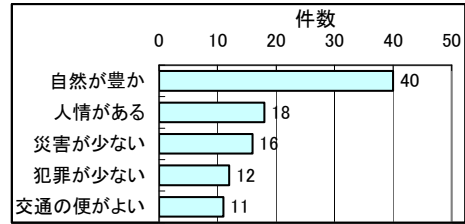
- 全体では、「自然が豊か」（415件）、「災害が少ない」（328件）が300件を越え、次いで「農産物に恵まれ食が豊か」（194件）、「犯罪が少ない」（151件）、「交通の便がよい」（138件）、「人情がある」（106件）の順番となっています。
- 年齢別では、60代以下の世代で「自然が豊か」が最も多く回答されている一方で、70代では「災害が少ない」が最も多く回答されています。
- また、30代までの若年層では「人情がある」が、上位に位置づけられています。
- 地区別では、全地区で「自然が豊か」が最も多く、「災害が少ない」が2番目に多く回答されています。また、川通地区・羽生田南地区では「交通の便がよい」が上位5項目に入っていません。



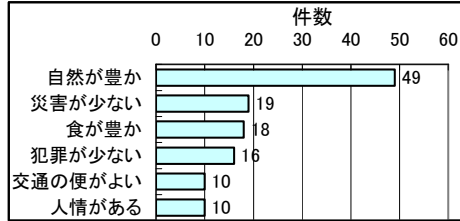
(10代)



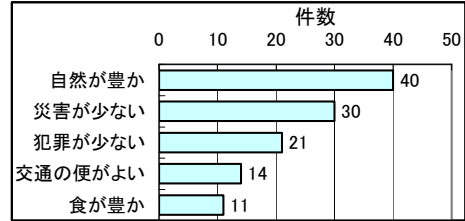
(20代)



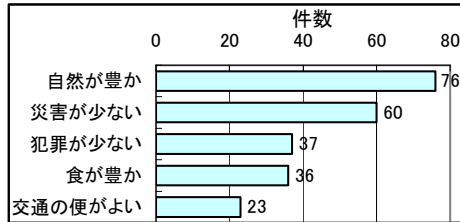
(30代)



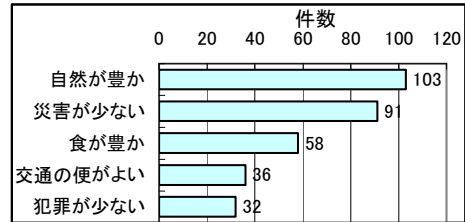
(40代)



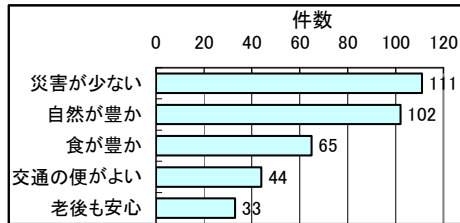
(50代)



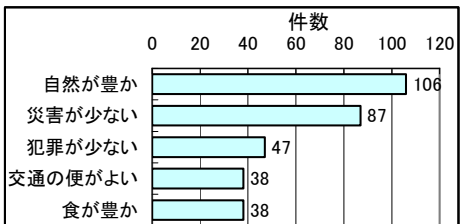
(60代)



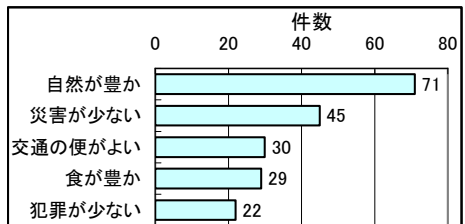
(70代)



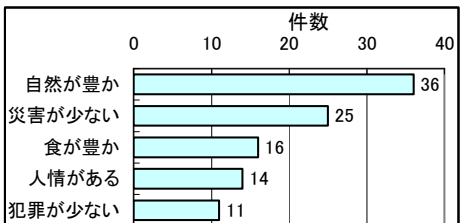
(田上南)



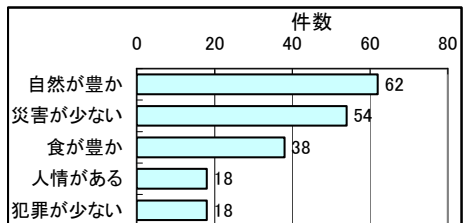
(田上北)



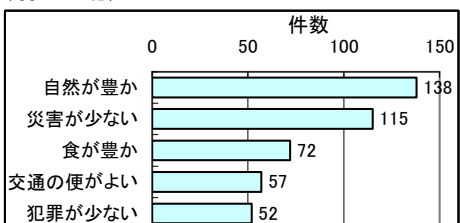
(川通)



(羽生田南)

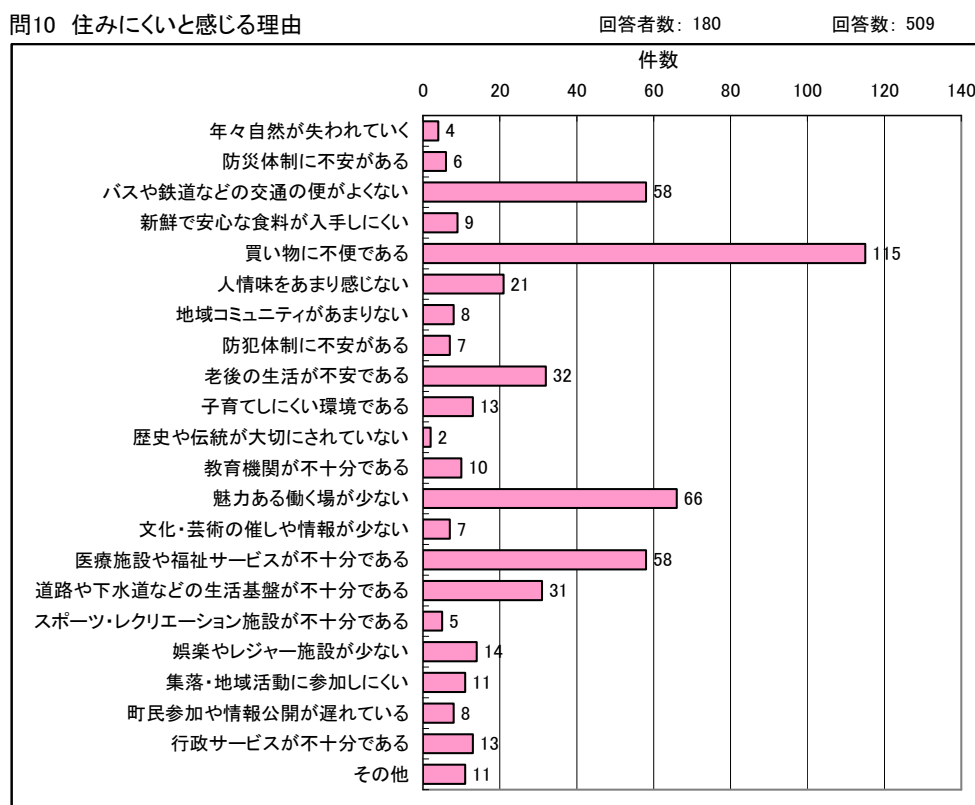


(羽生田北)

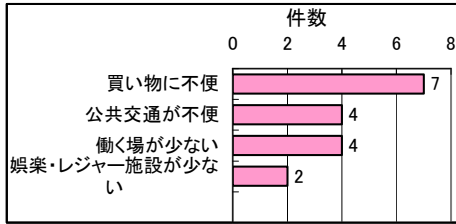


問10. 前問（問8）で、3または4に○をつけられた方におたずねします。住みにくいと感じる理由について、次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

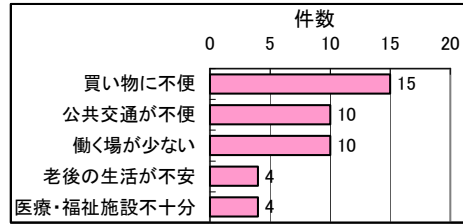
- 全体では、「買物に不便である」（115件）が最も多く回答され、「魅力ある働く場がない」（65件）、「バスや鉄道などの交通の便がよくない」と「医療施設や福祉サービスが不十分である」（58件）が続きます。
- 年齢別では、全世代で「買物に不便である」が最も多く回答され、10代・20代・50代・60代は「公共交通が不便」が続きます。「働く場が少ない」が、30代・40代で2番目に多く回答されており、70代では「医療・福祉施設不十分」が2番目に多く回答されています。
- 地区別では、羽生田南地区以外で「買物に不便である」が最も多く回答されており、羽生田南地区では「働く場が少ない」が最も多く回答されています。



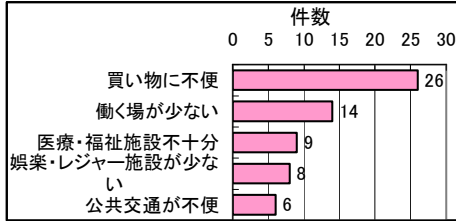
(10代)



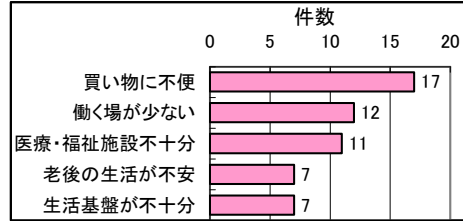
(20代)



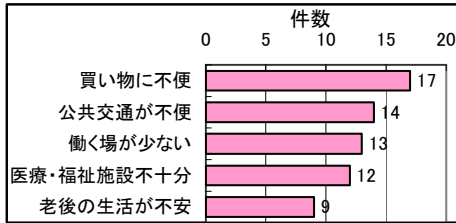
(30代)



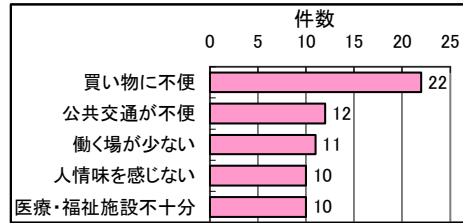
(40代)



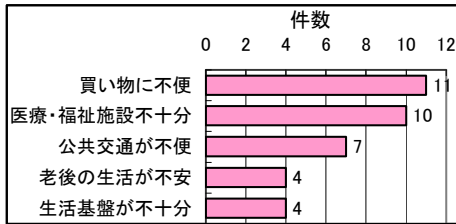
(50代)



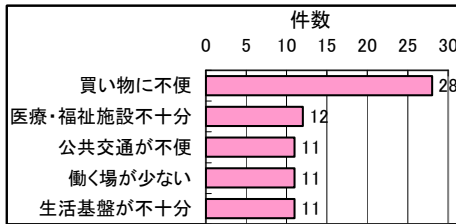
(60代)



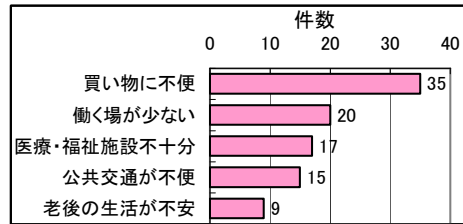
(70代)



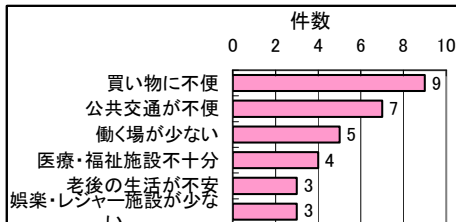
(田上南)



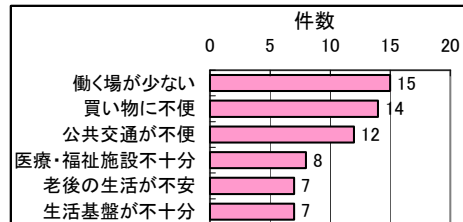
(田上北)



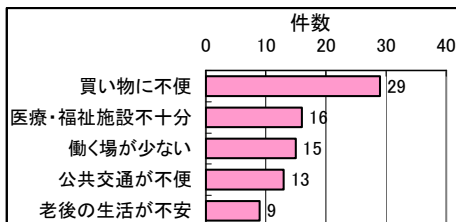
(川通)



(羽生田南)



(羽生田北)



問 11. あなたはこれからも田上町に住み続けたいと思いますか。あてはまるもの 1つだけに○をつけて ください。

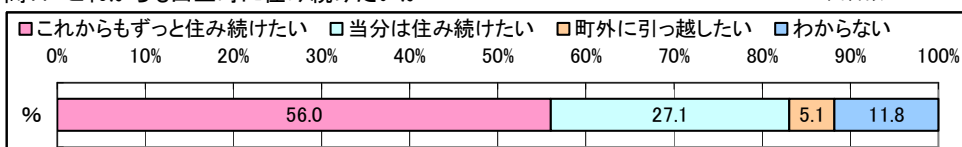
○全体では、「これからもずっと住み続けたい」が 56.0%で半数を超え、続く「当分は住み続けたい」(27.1%)と合わせると、80%以上が定住の意向を持っています。

○年齢別では、若年層で定住意向が低く、逆に高齢層になるほど定住意向強くなる傾向がみられます。特に 70 代では 78.1%が「これからもずっと住み続けたい」としています。なお、10 代の半数以上が「わからない」と回答しています。

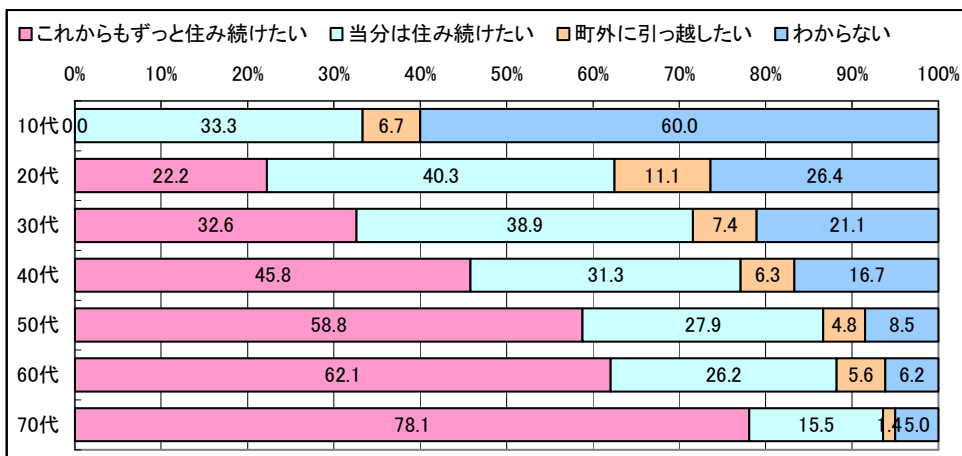
○地区別では、川通地区で 90%以上が「これからもずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」としています。一方、田上北地区ではこの比率が 80%を下回ります。

問11 これからも田上町に住み続けたいか

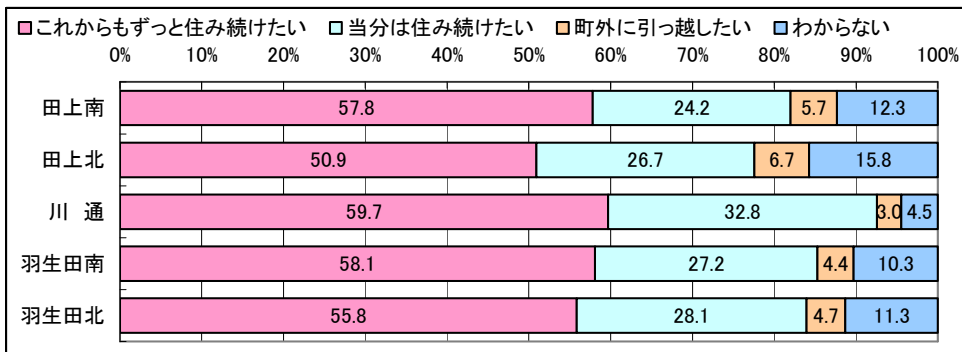
回答数: 857



(年齢別)



(地区別)



3. 田上町のイメージと今後のまちづくりについて、おたずねします

問12. あなたが日ごろ思っている田上町のイメージと将来望まれるイメージについて、あてはまるものをそれぞれ3つまで選んで下の口に番号を記入してください。

【現在のイメージ】

○全体では、「田畑が広がった農業の町」(631件)、「自然と調和した町」(522件)、「他都市に町民が通勤するベッドタウンの町」(305件)と続きます。

○年齢別では、10代以外で「農業の町」が、10代で「自然と調和した町」が最も多くあげられています。

○地区別では、全地区で「農業の町」が最も多く、次いで「自然と調和した町」、「ベッドタウン」があげられています。

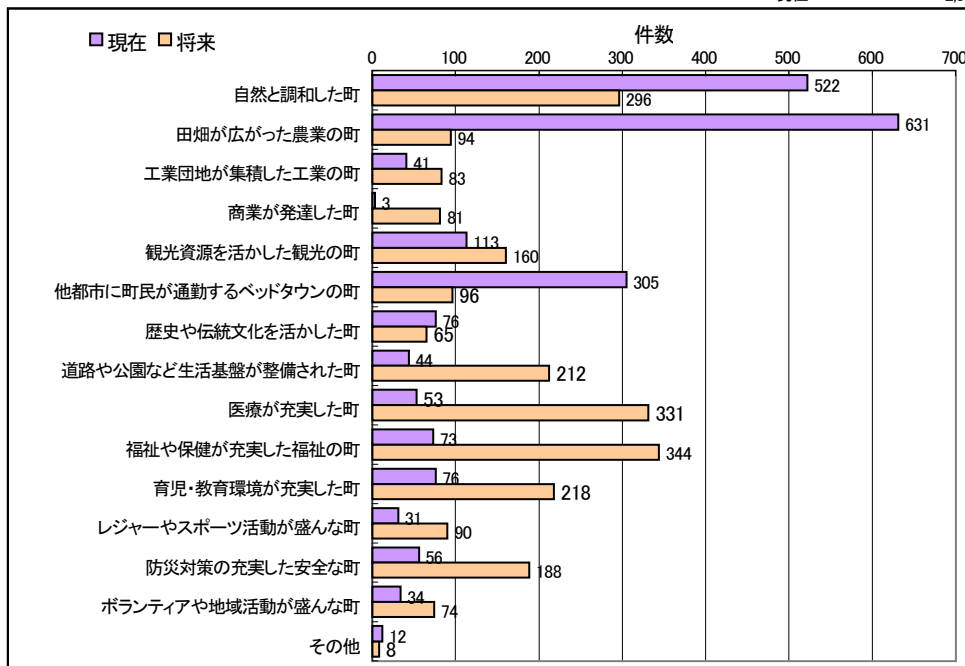
【将来のイメージ】

○「福祉や保健が充実した町」(344件)、「医療が充実した町」(331件)、「自然と調和した町」(296件)と続きます。

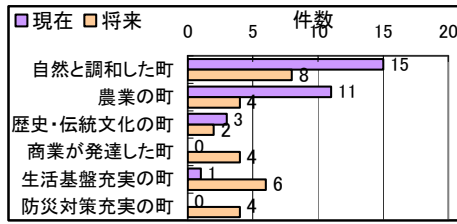
○年齢別では、20代・30代・40代で「医療が充実した町」が、50代・60代・70代で「福祉の町」が最も多くあげられています。このほか、20代・30代で「育児・教育充実の町」が上位にあげられています。

○地区別では、全地区で「福祉の町」、「医療が充実した町」、「自然と調和した町」が上位3件にあげられています。

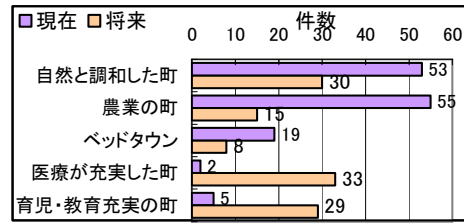
問12 日ごろ思っている田上町のイメージと将来望まれるイメージ 回答者数: 将来 799 回答数: 2070
現在 806 2,340



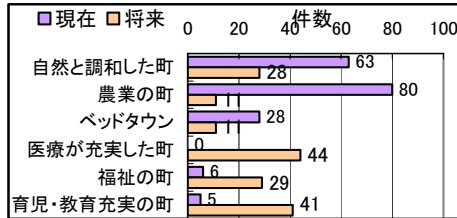
(10代)



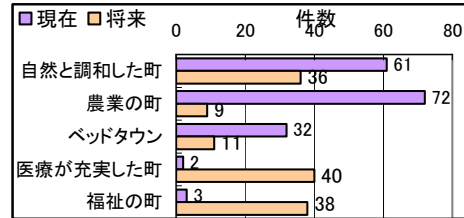
(20代)



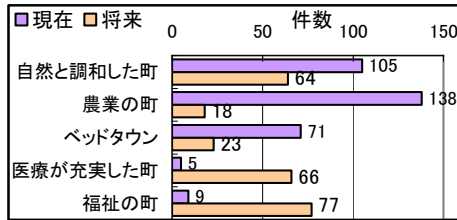
(30代)



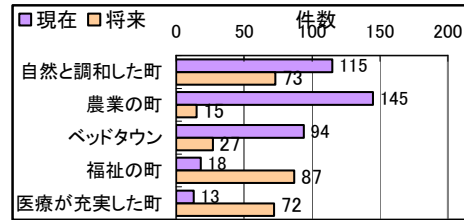
(40代)



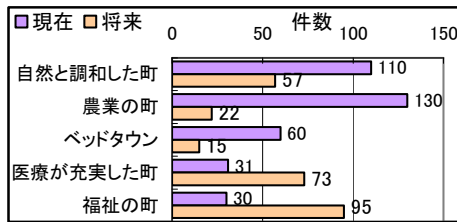
(50代)



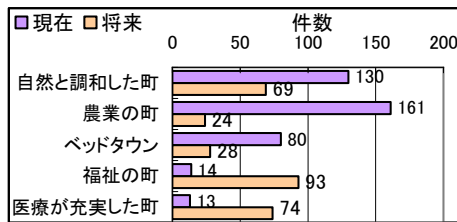
(60代)



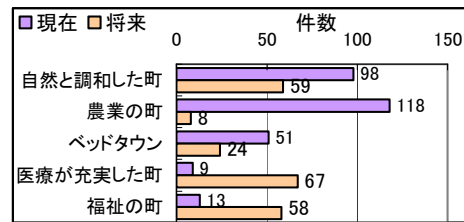
(70代)



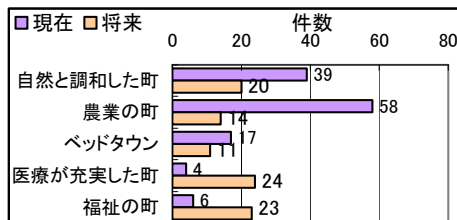
(田上南)



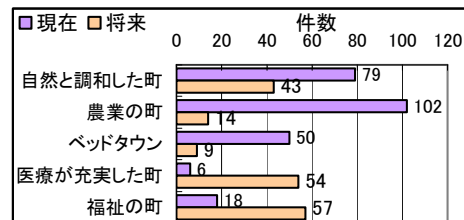
(田上北)



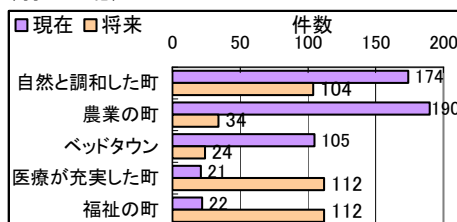
(川通)



(羽生田南)

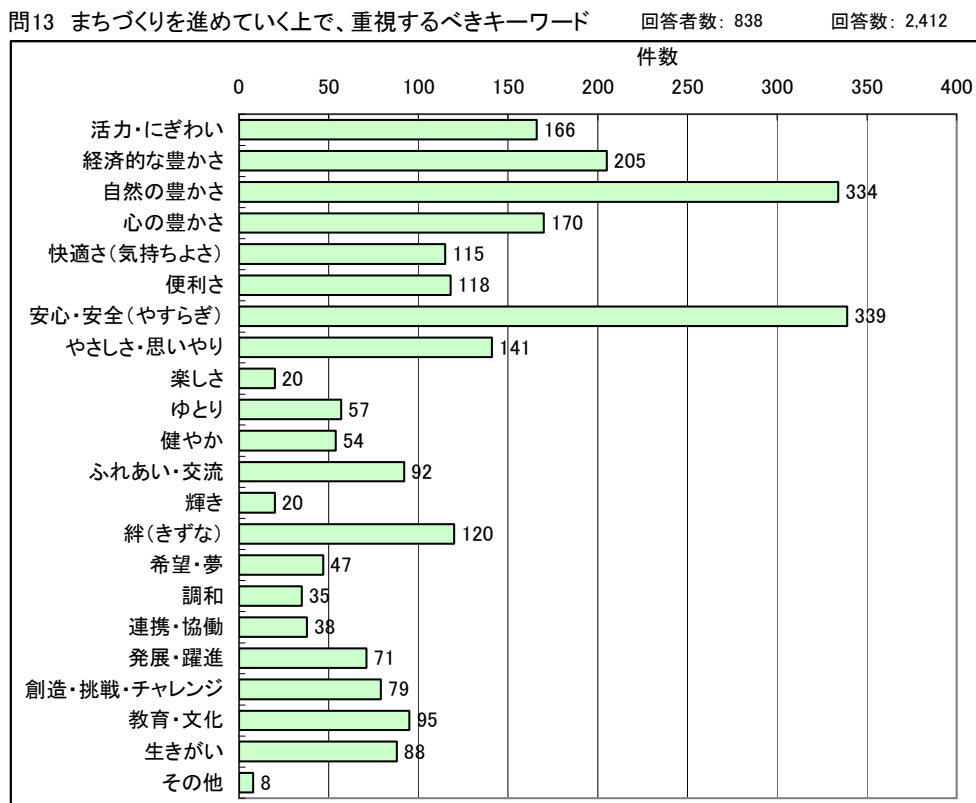


(羽生田北)

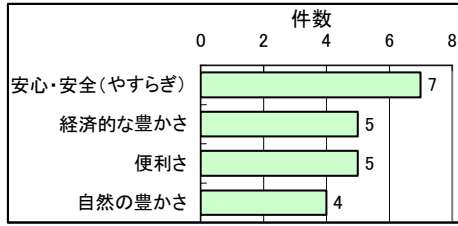


問13. 「まちづくり」を進めていく上で、田上町はどのような「ことば（キーワード）」を重視するべきだと思いますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

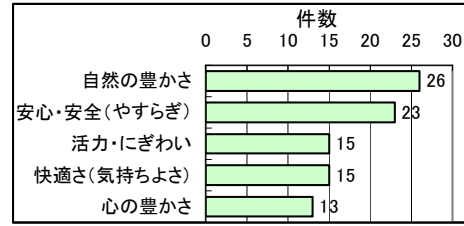
- 全体では、「安心・安全（やすらぎ）」(339件)が最も多く回答され、「自然の豊かさ」(334件)が続きます。また、「経済的な豊かさ」(205件)、「心の豊かさ」(170件)、「活力・にぎわい」(166件)、「やさしさ・思いやり」(141件)、「絆(きずな)」(120件)などが続きます。
- 年齢別では、10代・30代・40代・70代で「安心・安全（やすらぎ）」が、20代・50代・60代で「自然の豊かさ」が最も多く回答されています。また、20代・30代では「快適さ（気持ちよさ）」が、10代・40代では「便利さ」が、それぞれ上位にあげられています。
- 地区別では、田上南地区・羽生田南地区で「安心・安全（やすらぎ）」が、田上北地区・川通地区・羽生田北地区で「自然の豊かさ」が最も多く回答されています。また、田上南地区・川通地区では「やさしさ・思いやり」が、田上北地区では「便利さ」がそれぞれ上位にあげられています。



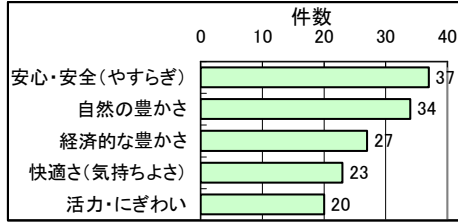
(10代)



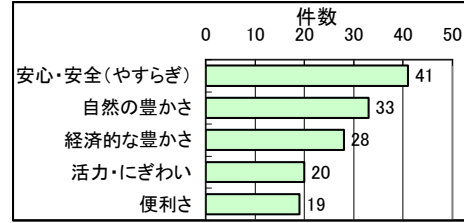
(20代)



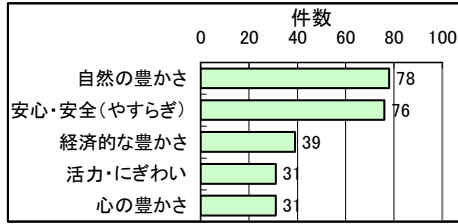
(30代)



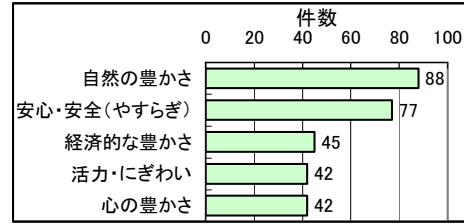
(40代)



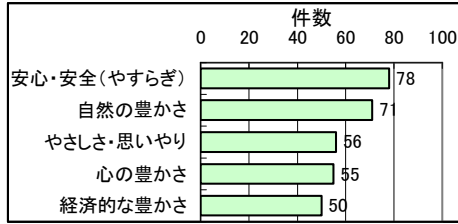
(50代)



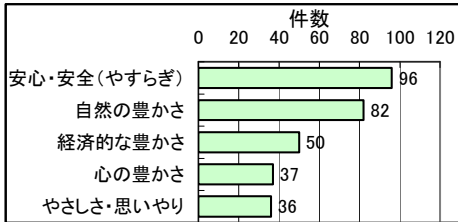
(60代)



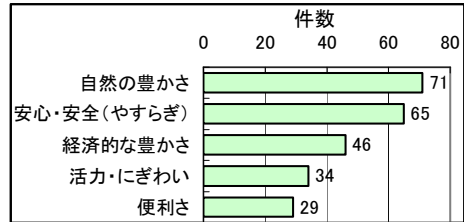
(70代)



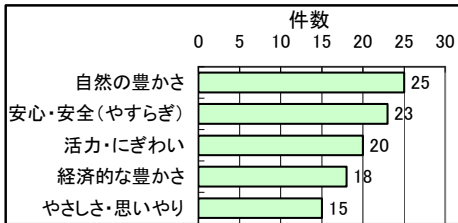
(田上南)



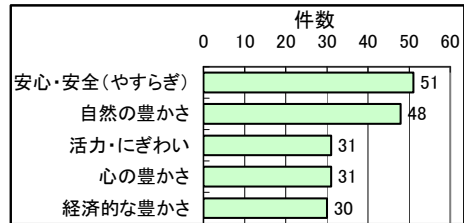
(田上北)



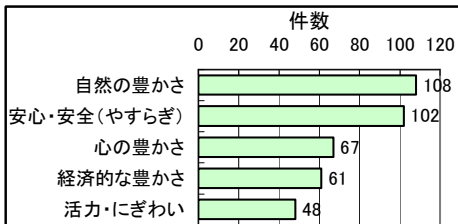
(川通)



(羽生田南)



(羽生田北)



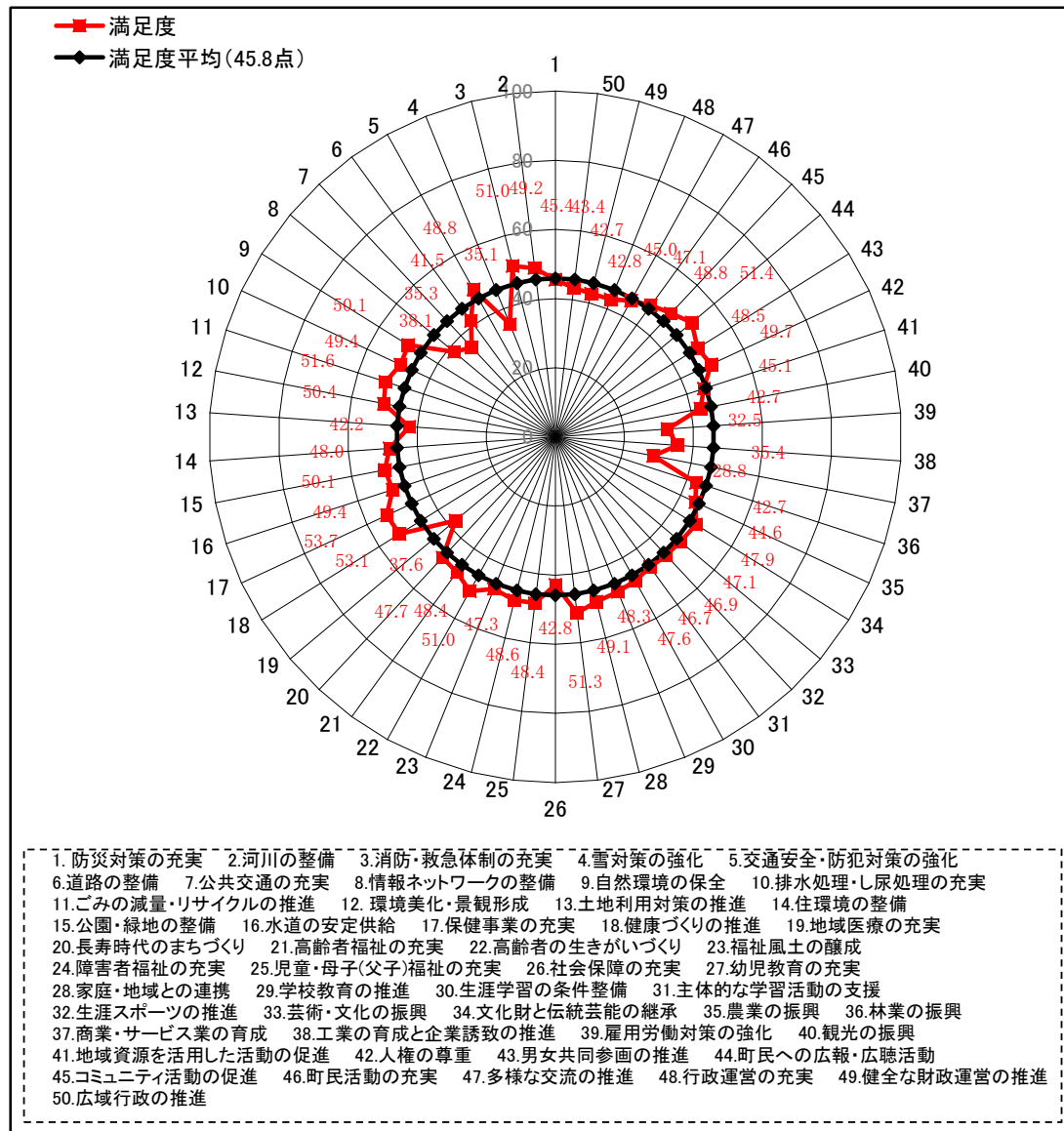
問 14. 田上町での暮らしについて、各分野の現在の「満足度」と、今後の「重要度」をおたずねします。
 左側の全 50 項目に関して、右側の「①満足度」と「②重要度」の各選択肢からあてはまるものを、それぞれ1つずつあなたが感じるままに○をつけてください。

【満足度】

- 全 50 分野の基本施策の平均点は 45.8 点でした。「普通」を 50 点としていることから、全体的な住民評価としては「不満」が「満足」を上回る結果となりました。
- 全体では、満足度の高い項目として「17. 保健事業の充実」(53.7 点)、「18. 健康づくりの推進」(53.1 点)、「11. ごみの減量・リサイクルの推進」(51.6 点)、「44. 町民への広報・広聴活動」(51.4 点)、「27. 幼児教育の充実」(51.3 点)などがあげられます。
- 満足度の低い項目としては、「37. 商業・サービス業の育成」(28.8 点)、「39. 雇用労働対策の強化」(32.5 点)、「4. 雪対策の強化」(35.1 点)、「7. 公共交通の充実」(35.3 点)、「38. 工業の育成と企業誘致の推進」(35.4 点)があげられます。

問14 各分野の満足度と重要度(満足度)

回答数(平均): 765



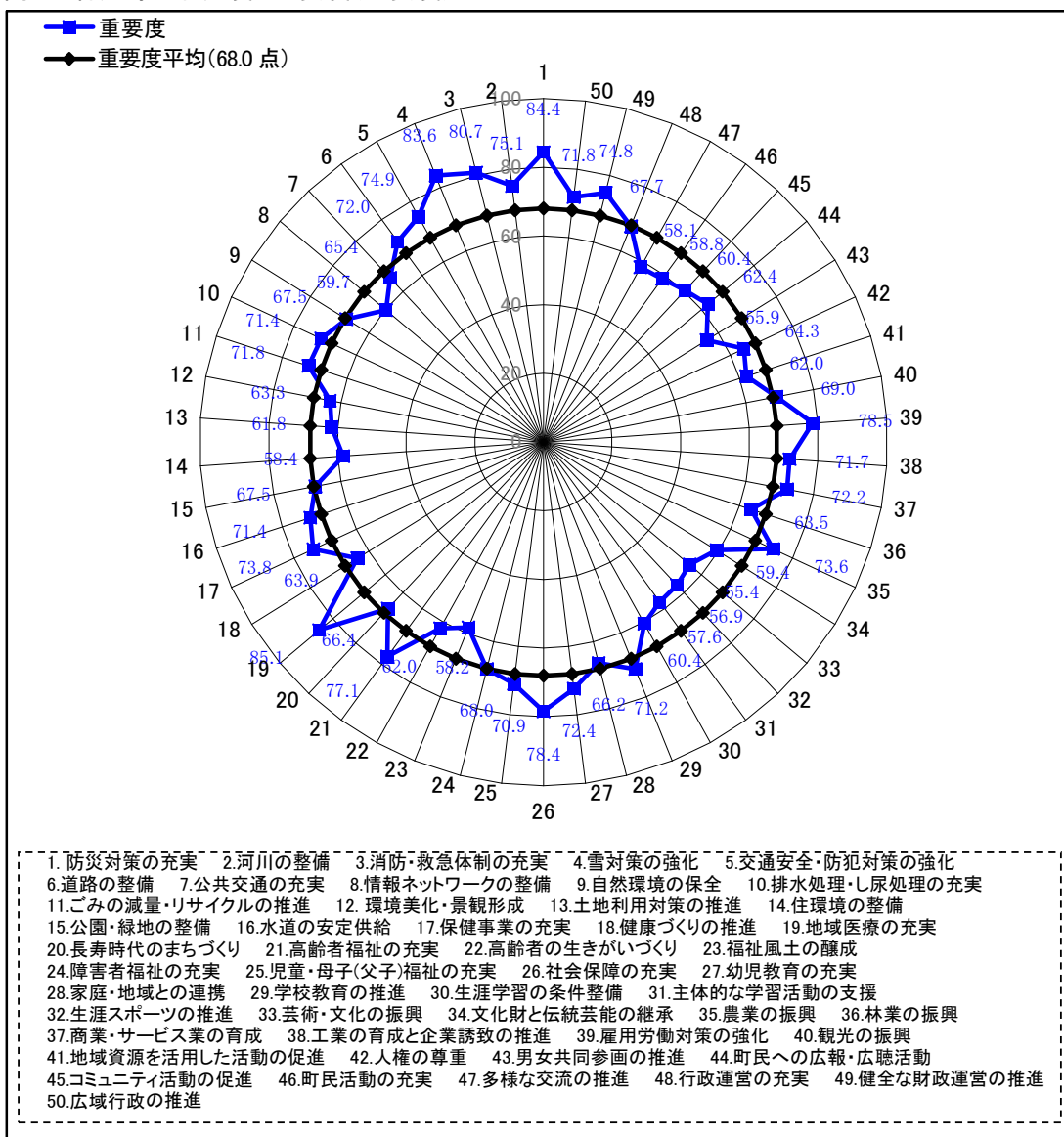
※「満足」: 100点、「普通」: 50点、「不満」: 0点で集計し、その値を回答者数で除した点数(平均点)

【重要度】

- 全50分野の基本施策の平均点は68.0点でした。「普通」を50点としていることから、全体的な住民評価としては「重要」が「重要でない」を上回る結果となりました。
- 全体では、重要度の高い項目として「19. 地域医療の充実」(85.1点)、「1. 防災対策の充実」(84.4点)、「4. 雪対策の強化」(83.6点)、「3. 消防・救急体制の充実」(80.7点)、「39. 雇用労働対策の強化」(78.5点)などがあげられます。
- 重要度の低い項目としては、「33. 芸術・文化の振興」(55.4点)、「43. 男女共同参画の推進」(55.9点)、「32. 生涯スポーツの推進」(56.9点)、「31. 主体的な学習活動の支援」(57.6点)、「47. 多様な交流の推進」(58.1点)があげられます。

問14 各分野の満足度と重要度(重要度)

回答数(平均): 733



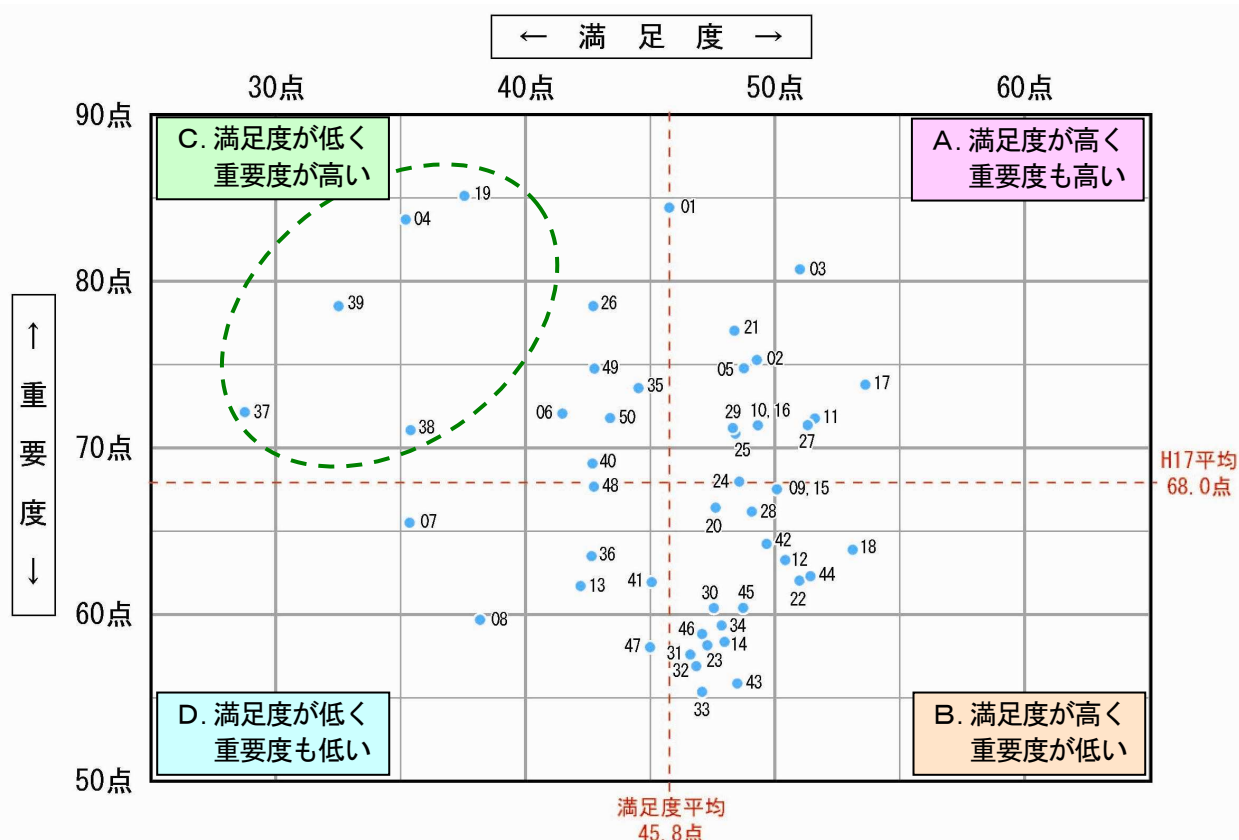
※「重要」:100点、「普通」:50点、「重要でない」:0点で集計し、その値を回答者数で除した点数(平均点)

【満足度と重要度のクロス散布図】

○満足度と重要度のクロス評価による4類型区分のうち、「満足度が低く重要度が高い」（C類型）と分類される分野は、住民の視点から今後重点的に改善すべき分野であると考えられます。

（C類型参考：満足度が40点以下で重要度が70点以上の基本施策）

- 19. 地域医療の充実 ●4. 雪対策の強化 ●39. 雇用労働対策の強化
- 37. 商業・サービス業の育成 ●38. 工業の育成と企業誘致の推進



【特徴と課題の類型】

- A：満足度が高く重要度も高い → 安定的に維持すべき分野
- B：満足度が高く重要度が低い → (重要度の動向をみて)選択的に維持すべき分野
- C：満足度が低く重要度が高い → 重点的に改善すべき分野
- D：満足度が低く重要度も低い → (重要度の動向をみて)選択的に改善すべき分野

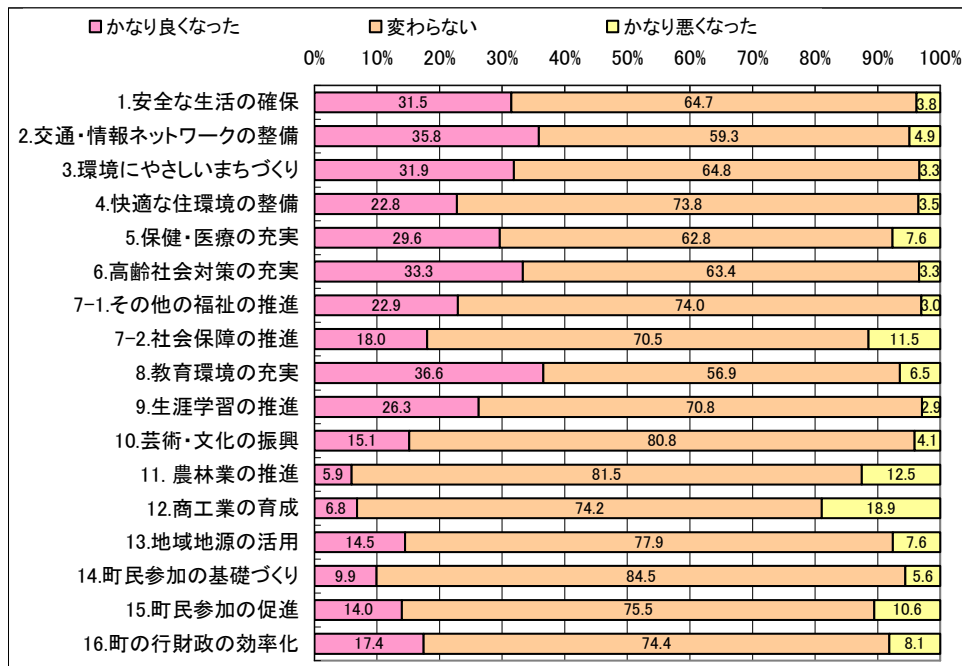
1. 防災対策の充実 2. 河川の整備 3. 消防・救急体制の充実 4. 雪対策の強化 5. 交通安全・防犯対策の強化
6. 道路の整備 7. 公共交通の充実 8. 情報ネットワークの整備 9. 自然環境の保全 10. 排水処理・し尿処理の充実
11. ごみの減量・リサイクルの推進 12. 環境美化・景観形成 13. 土地利用対策の推進 14. 住環境の整備
15. 公園・緑地の整備 16. 水道の安定供給 17. 保健事業の充実 18. 健康づくりの推進 19. 地域医療の充実
20. 長寿時代のまちづくり 21. 高齢者福祉の充実 22. 高齢者の生きがいづくり 23. 福祉風土の醸成
24. 障害者福祉の充実 25. 児童・母子(父子)福祉の充実 26. 社会保障の充実 27. 幼児教育の充実
28. 家庭・地域との連携 29. 学校教育の推進 30. 生涯学習の条件整備 31. 主体的な学習活動の支援
32. 生涯スポーツの推進 33. 芸術・文化の振興 34. 文化財と伝統芸能の継承 35. 農業の振興 36. 林業の振興
37. 商業・サービス業の育成 38. 工業の育成と企業誘致の推進 39. 雇用労働対策の強化 40. 観光の振興
41. 地域資源を活用した活動の促進 42. 人権の尊重 43. 男女共同参画の推進 44. 町民への広報・広聴活動
45. コミュニティ活動の促進 46. 町民活動の充実 47. 多様な交流の推進 48. 行政運営の充実 49. 健全な財政運営の推進
50. 広域行政の推進

問 15. 田上町ではこれまで様々な施策を進めてきましたが、あなたは、以下の各分野について、おおよそ 10 年前と比べてどのようなお考えですか。左側の全 16 項目に関して、右側の各選択肢からあてはまるものを、それぞれ 1 つずつあなたが感じるままに○をつけてください。

- 「かなり良くなった」とする比率は、「8. 教育環境の充実」(36.6%)、「2. 交通・情報ネットワークの整備」(35.8%)、「6. 高齢社会対策の充実」(33.3%)、「3. 環境にやさしいまちづくり」(31.9%)、「1. 安全な生活の確保」(31.5%)で30%を上回り高くなっています。
- 一方、「かなり悪くなった」と評価されているものとしては、「12. 商工業の育成」(18.9%)、「11. 農林業の推進」(12.5%)、「7-2. 社会保障の推進」(11.5%)、「15. 町民参加の促進」(10.6%)が10%を超えています。特に「11. 農林業の推進」と「12. 商工業の育成」は「かなり悪くなった」とする比率が「かなり良くなった」とする比率を上回ります。

問15 各分野の10年前との比較

回答数(平均): 765



4. 各分野の方向性についておたずねします

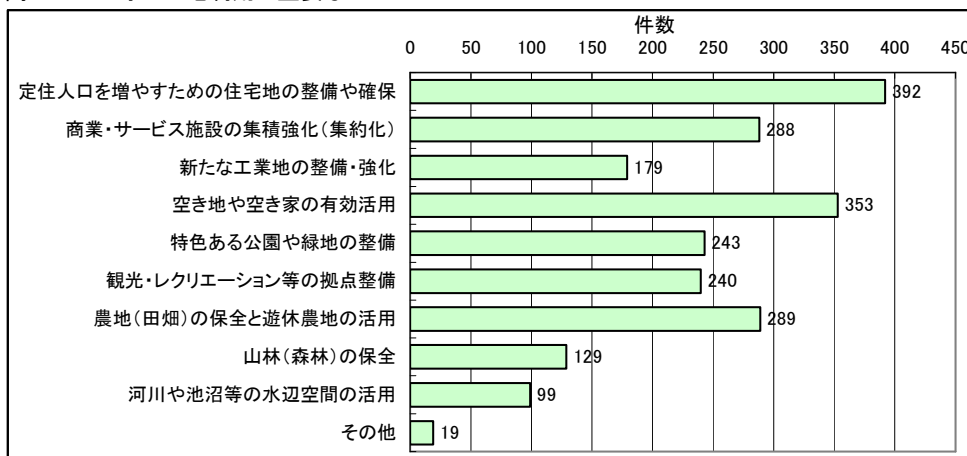
問 16. あなたは、これからの田上町の土地の利用について、何が重要だと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 全体では、「定住人口を増やすための住宅地の整備や確保」が 392 件で最も多く、「空地や空家の有効活用」(353 件)、「農地(田畑)の保全と遊休農地の活用」(289 件)、「商業・サービス施設の集積強化(集約化)」(288 件)といった意見が続きます。
- 年齢別では、10 代が「商業施設等の集約化」、20 代～40 代が「空地や空家の有効活用」、50 代以降が「住宅地の整備や確保」とする意見が多く回答されています。
- 10 代・30 代・40 代で「観光等の拠点整備」が上位にあげられています。特に 40 代では、2 番目に多く回答されています。
- 地区別では、川通地区を除く全地区で「住宅地の整備や確保」が最も多い意見となっており、川通地区では「農地の保全と活用」が最も多く回答されています。
- 田上南地区・田上北地区・羽生田南地区では「観光等の拠点整備」が上位にあげられ、川通地区・羽生田北地区では「公園や緑地の整備」が上位にあげられています。

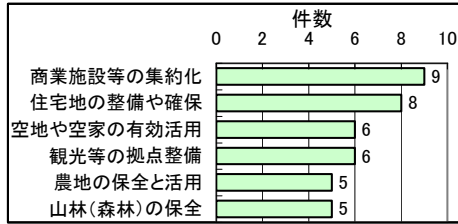
問16 田上町の土地利用で重要なこと

回答者数: 807

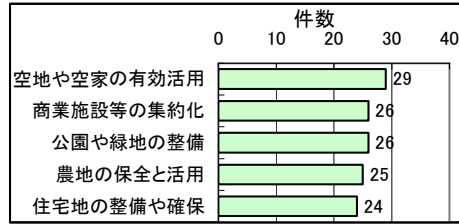
回答数: 2,231



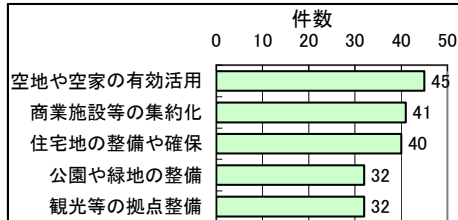
(10代)



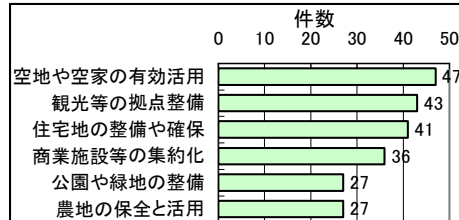
(20代)



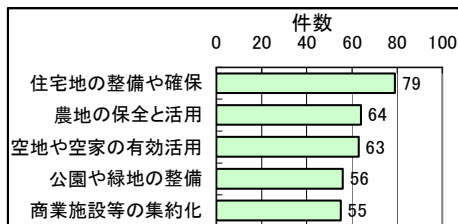
(30代)



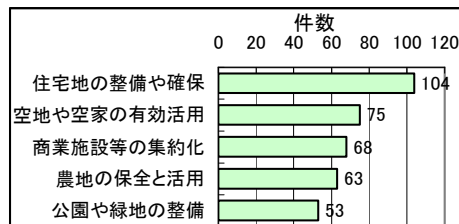
(40代)



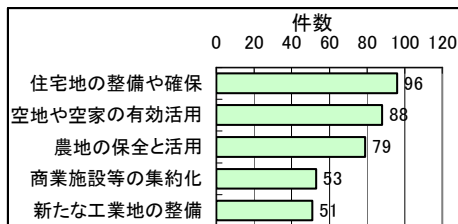
(50代)



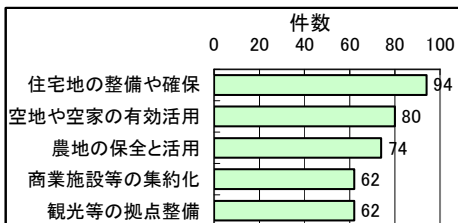
(60代)



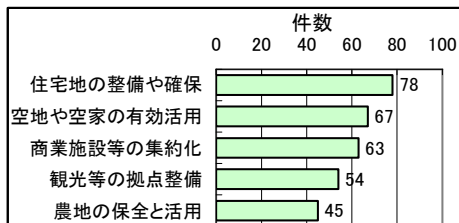
(70代)



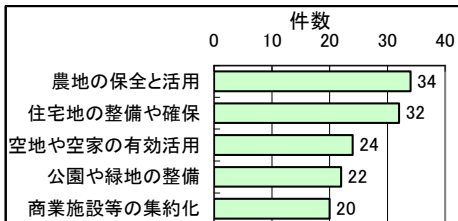
(田上南)



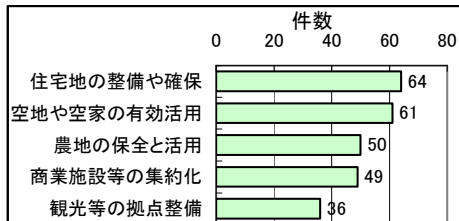
(田上北)



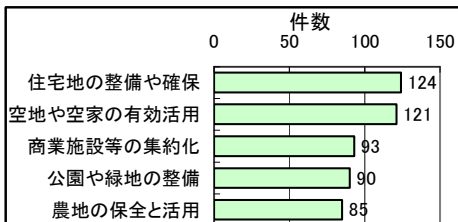
(川通)



(羽生田南)



(羽生田北)



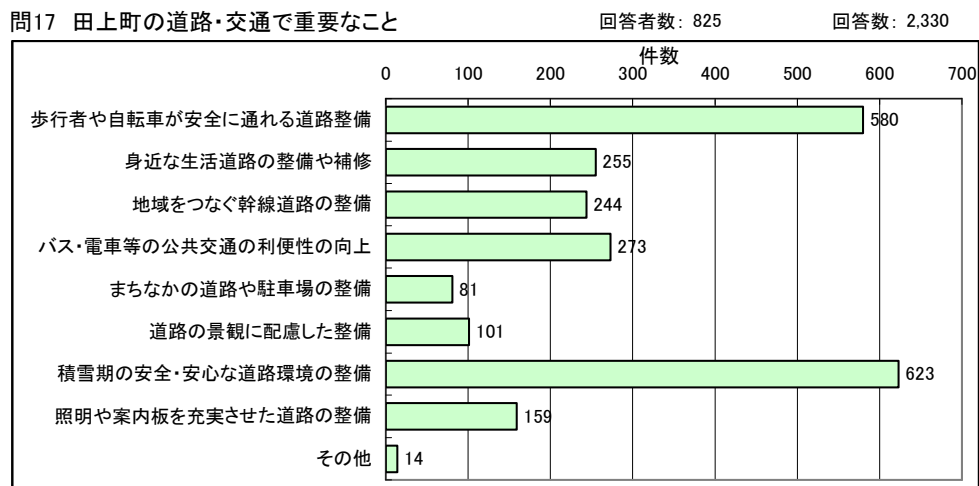
問17. あなたは、田上町の道路や公共交通の整備・充実について、何が重要だと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

○全体では、「積雪期の安全・安心な道路環境の整備」が623件で最も多く、「歩行者や自転車が安全に通れる道路整備」(580件)が続きます。このほか、「バス・電車等の公共交通の利便性の向上」(273件)、「身近な生活道路の整備や補修」(255件)、「地域をつなぐ幹線道路の整備」(244件)といった意見も多くあげられています。

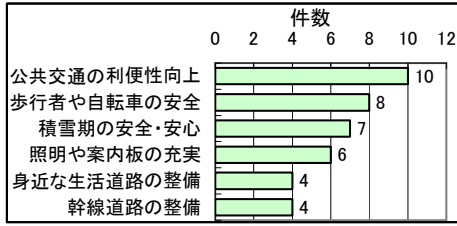
○年齢別では、10代が「公共交通の利便性の向上」を、20代以降が「積雪期の安全・安心」を最も多くあげています。

○「歩行者や自転車の安全」が全世代で2番目に多くあげられています。

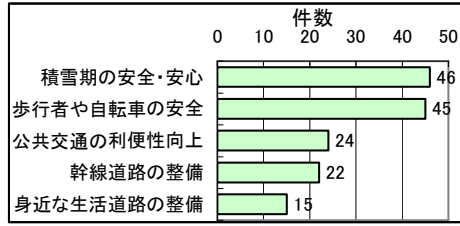
○地区別では、田上北地区を除く全地区で「積雪期の安全・安心」が最も多い意見となっており、田上北地区では「歩行者や自転車の安全」が最も多く回答されています。



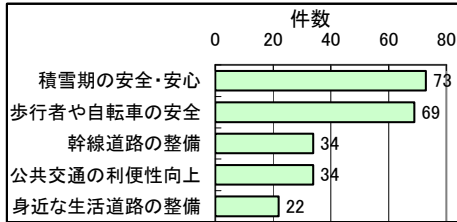
(10代)



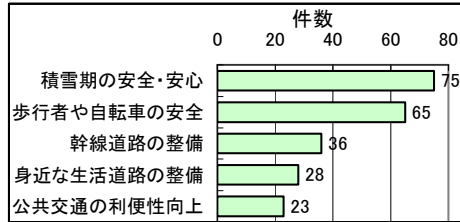
(20代)



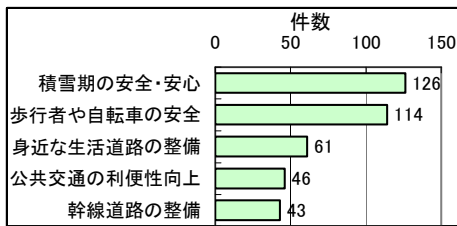
(30代)



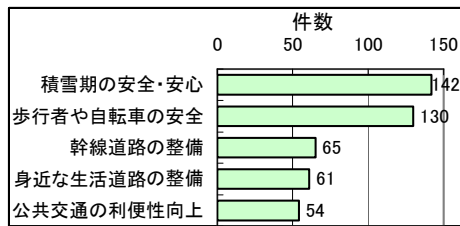
(40代)



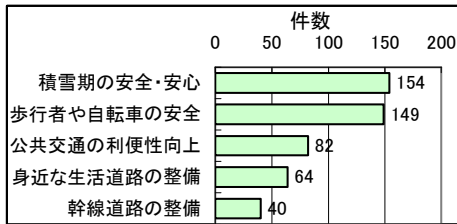
(50代)



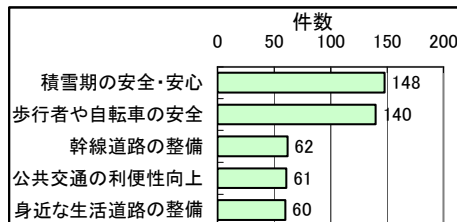
(60代)



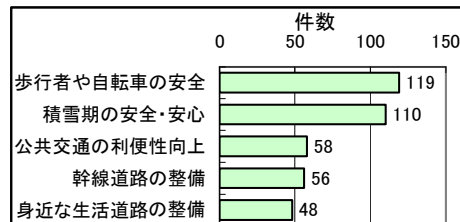
(70代)



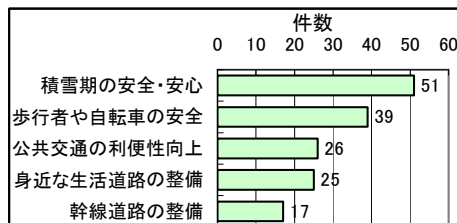
(田上南)



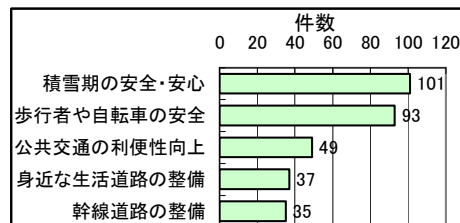
(田上北)



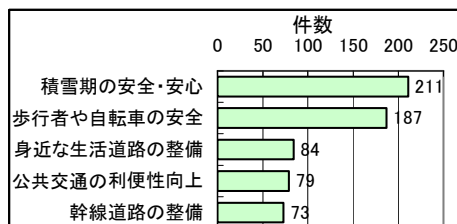
(川通)



(羽生田南)



(羽生田北)



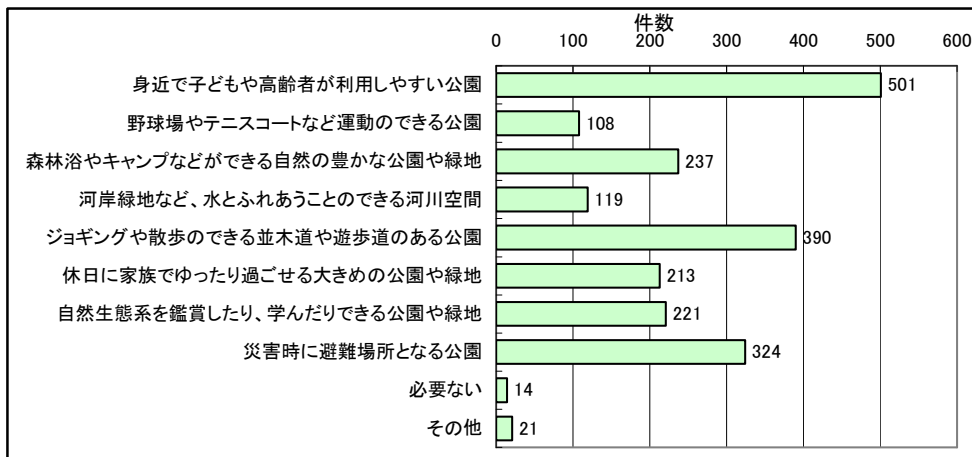
問 18. あなたは、田上町の公園や緑地について、何が重要だと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 全体では、「身近で子どもや高齢者が利用しやすい公園」が 501 件で最も多く、次いで「ジョギングや散歩のできる並木道や遊歩道のある公園」(390 件)、「災害時に避難場所となる公園」(324 件)、「森林浴やキャンプなどができる自然の豊かな公園や緑地」(237 件)などが続きます。
- 年齢別では、10 代が「運動のできる公園」を、40 代が「並木道や遊歩道」を、その他の年代が「身近な公園」を最も多くあげています。
- 「避難場所となる公園」は、年代が高くなるに従い上位にあげられる傾向がみられます。
- 地区別では、全地区で「身近な公園」が最も多い意見となっており、川通地区を除く全地区で「並木道や遊歩道」が、川通地区では「避難場所となる公園」が 2 番目に多く回答されています。

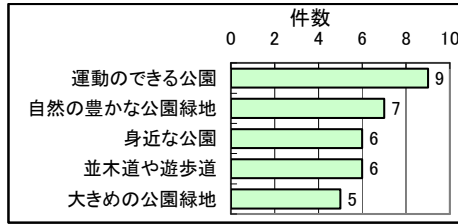
問18 田上町の公園・緑地で重要なこと

回答者数: 813

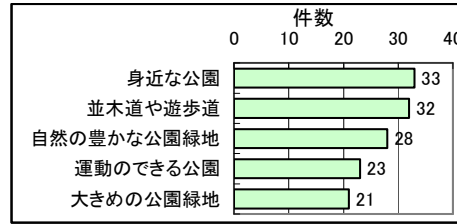
回答数: 2,148



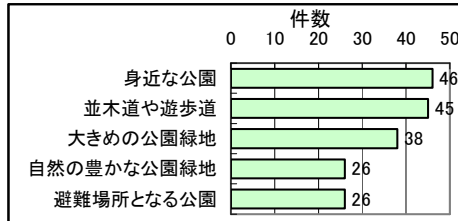
(10代)



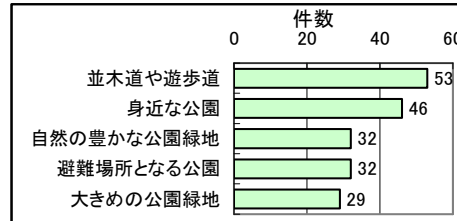
(20代)



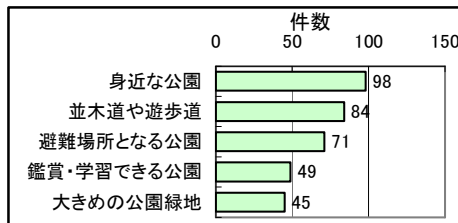
(30代)



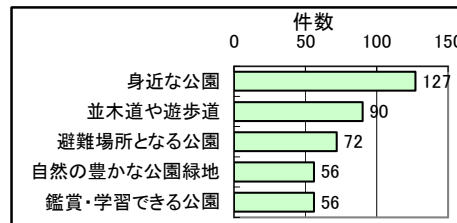
(40代)



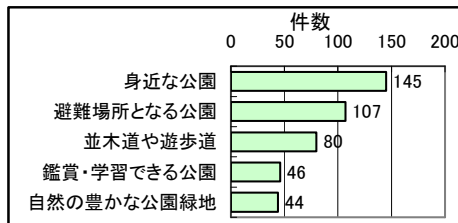
(50代)



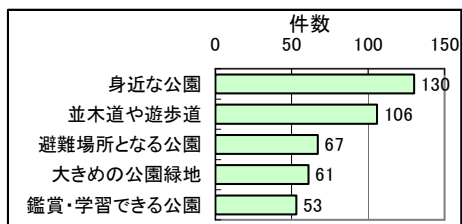
(60代)



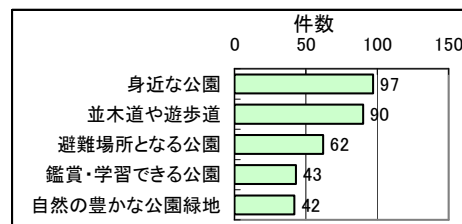
(70代)



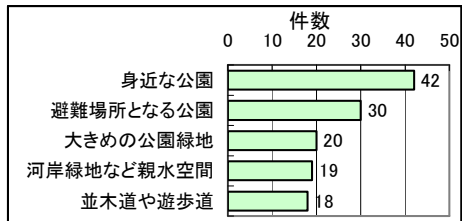
(田上南)



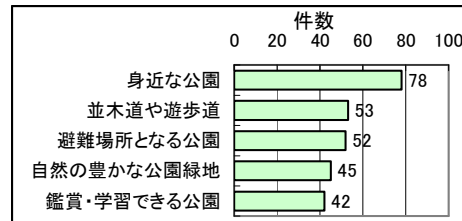
(田上北)



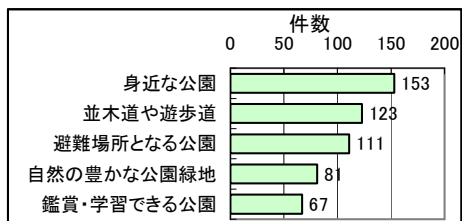
(川通)



(羽生田南)

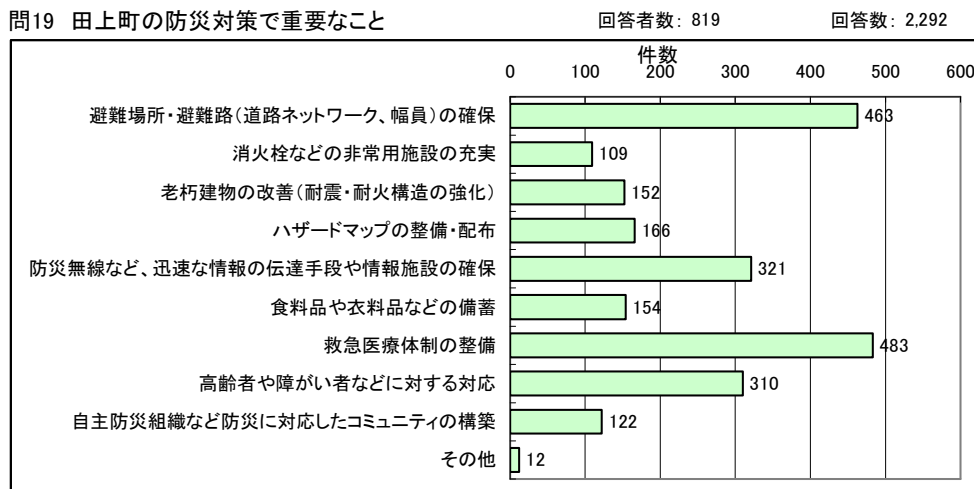


(羽生田北)

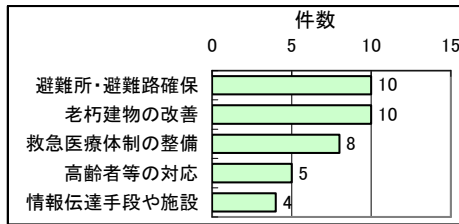


問 19. あなたは、田上町の都市の防災対策について、何が重要だと思えますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

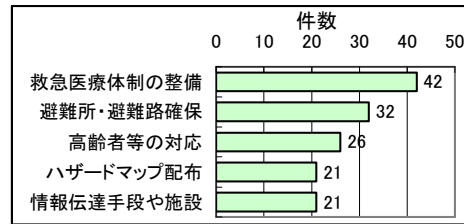
- 全体では、「救急医療体制の整備」が 483 件で最も多く、「避難場所・避難路（道路ネットワーク、幅員）の確保」（463 件）が続きます。このほか、「防災無線など、迅速な情報の伝達手段や情報施設の確保」（321 件）、「高齢者や障がい者などに対する対応」（310 件）といった意見も多くあげられています。
- 年齢別では、20 代・30 代・40 代・60 代が「救急医療体制の整備」を、10 代・50 代・70 代が「避難場所・避難路確保」を最も多くあげています。
- 20 代・50 代・60 代では「ハザードマップ配布」が、30 代・40 代では「食料・衣料品の備蓄」がそれぞれ上位にあげられています。
- 地区別では、田上南地区・羽生田南地区・羽生田北地区が「救急医療体制の整備」を、田上北地区・川通地区が「避難場所・避難路確保」を最も多くあげています。
- 全地区において、「情報伝達手段や施設」と「高齢者等の対応」が 3 番目または 4 番目に多くあげられています。



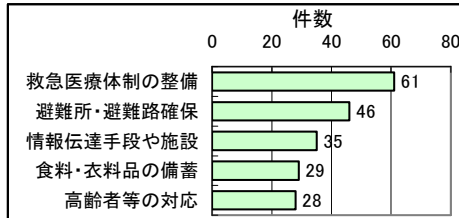
(10代)



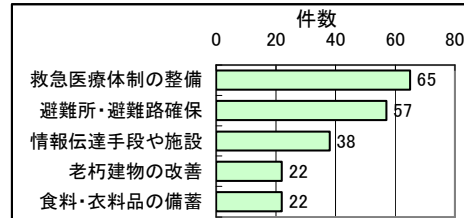
(20代)



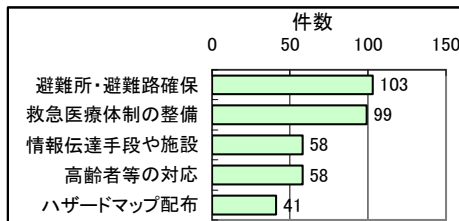
(30代)



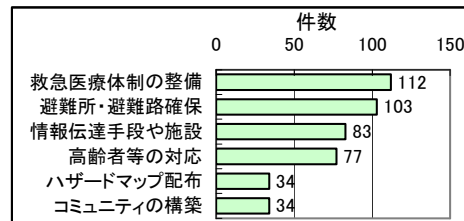
(40代)



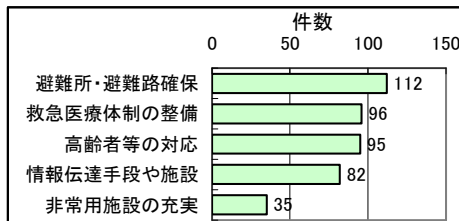
(50代)



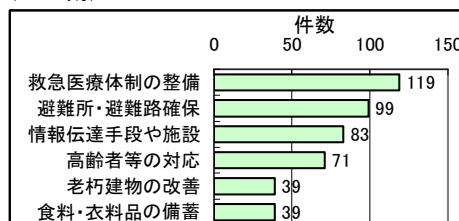
(60代)



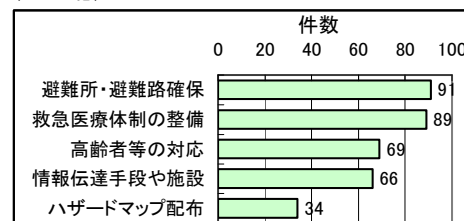
(70代)



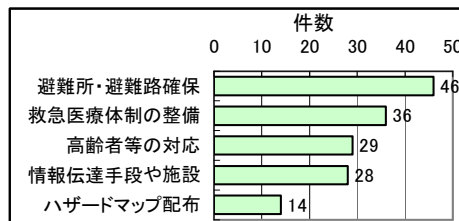
(田上南)



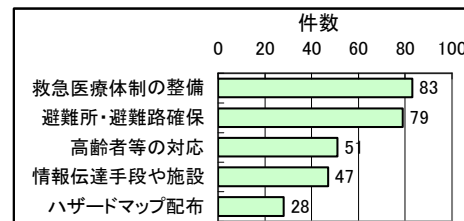
(田上北)



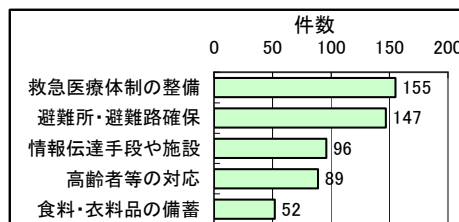
(川通)



(羽生田南)



(羽生田北)



5. 行政運営や住民参加についておたずねします

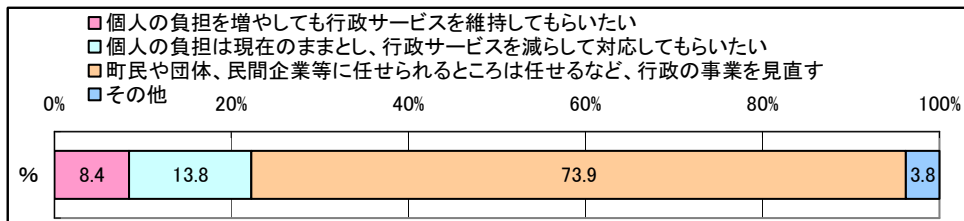
問20. 近年、全国的に地方自治体の財政は厳しくなっています。このような中、これからのまちづくりにおける町民と行政の役割について、どのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

○全体では、「町民や団体、民間企業等に任せられるところは任せるなど、行政の事業を見直す」が73.9%で傑出しています。「個人の負担は現在のままとし、行政サービスを減らして対応してもらいたい」が13.8%、「個人の負担を増やしても行政サービスを維持してもらいたい」が8.4%となっています。

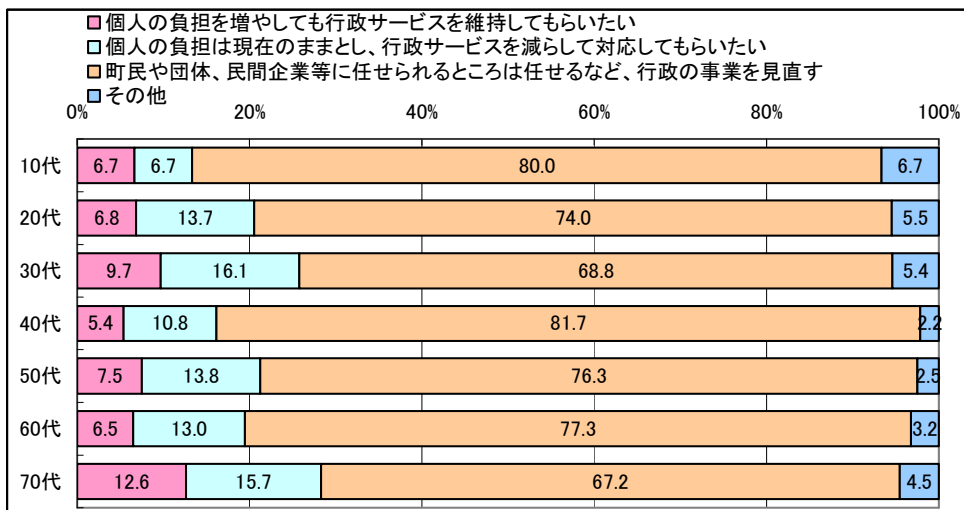
○年齢別、地区別では、全年代・全地区において、全体と同様の傾向がみられます。ただし、年齢別では10代・40代、地区別では田上南地区で「町民や団体、民間企業等に～」が80%超の特に高い比率となっています。

問20 厳しい財政状況での町民と行政の役割

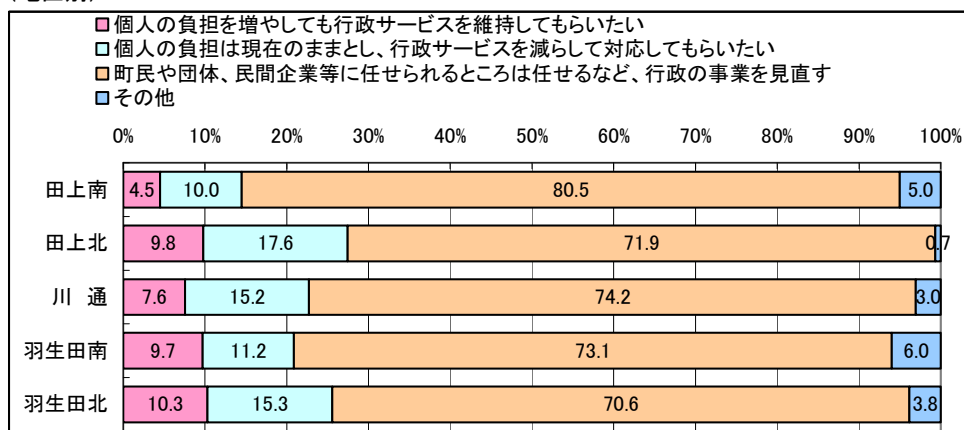
回答数：817



(年齢別)



(地区別)

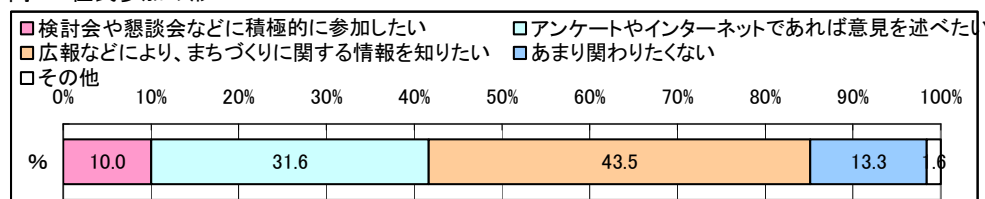


問21. 今後、まちづくりに関する検討会など、行政と協働する機会があった場合、あなたは参加したいと思いませんか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

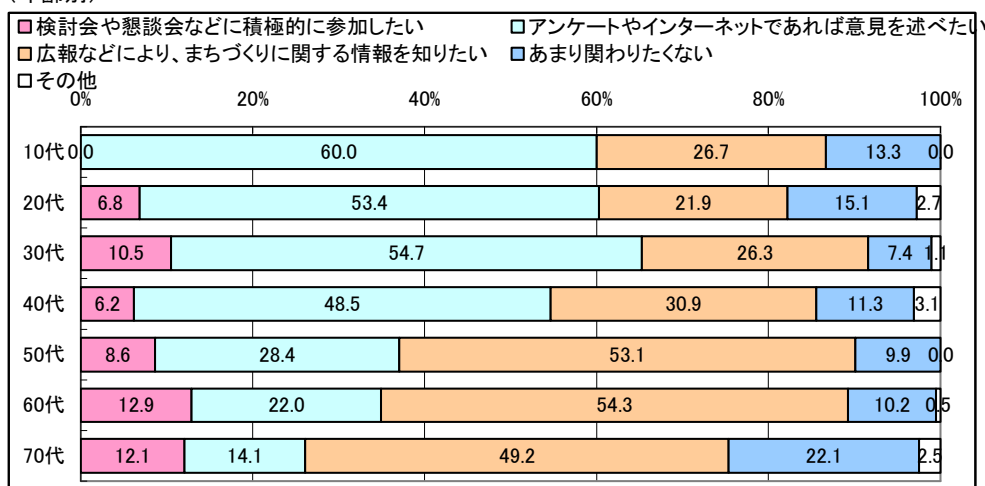
- 全体では、「広報などにより、まちづくりに関する情報を知りたい」とする意見が43.5%で最も多く、「アンケートやインターネットであれば意見を述べたい」とする意見が31.6%で続きます。
- 年齢別では、40代までで「アンケートやインターネットであれば意見を述べたい」が、50代以降で「広報などにより、まちづくりに関する情報を知りたい」とする意見が最も多いです。
- 30代・60代・70代で、「検討会や懇談会などに積極的に参加したい」とする積極的参加の意見が10%を超えています。
- 地区別では、全地区で「広報などにより、まちづくりに関する情報を知りたい」とする意見が最も多く、「アンケートやインターネットであれば意見を述べたい」とする意見が続きます。
- 田上南地区・羽生田南地区は、「検討会や懇談会などに積極的に参加したい」とする比率が10%を超え、他地区よりも高い状況です。

問21 住民参加の形

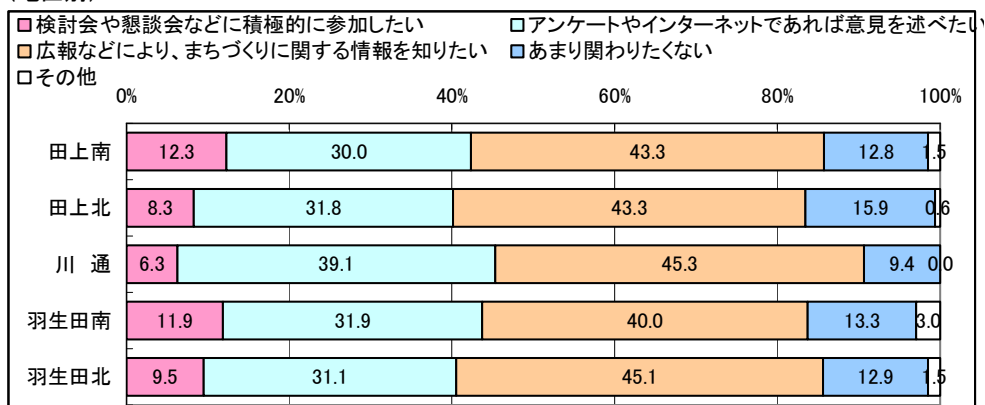
回答数：828



(年齢別)

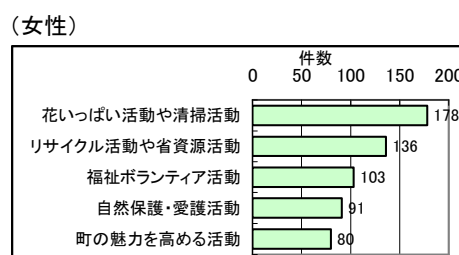
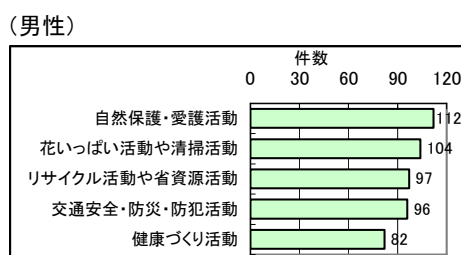
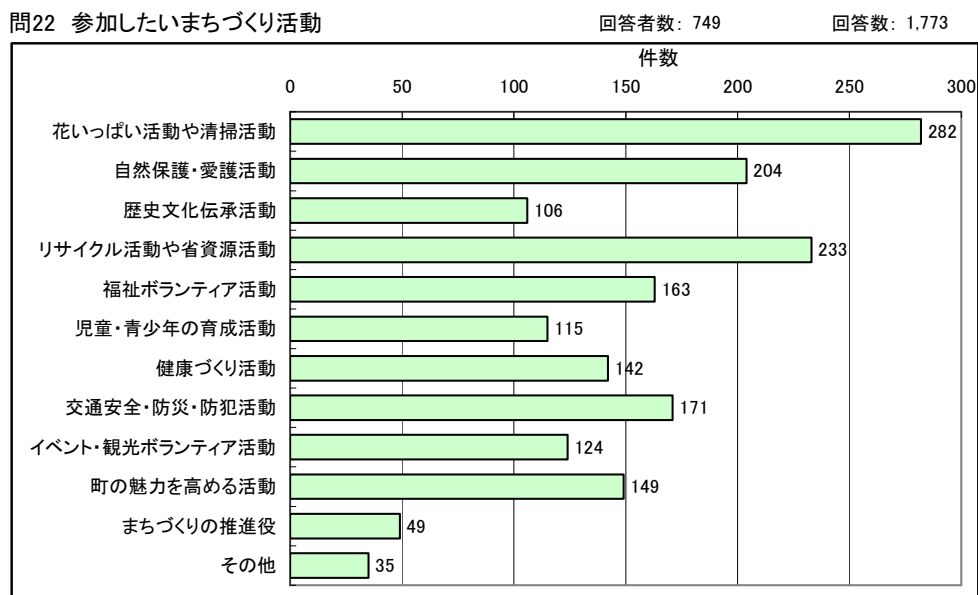


(地区別)

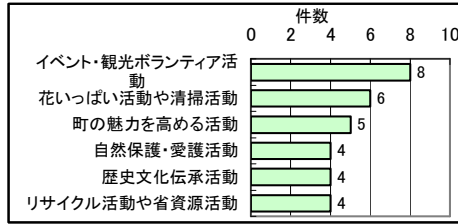


問22. まちづくり活動に参加するとしたら、どのような活動に参加したいですか。
 現在参加されているものも含めて、あてはまるもの全てに○をつけてください。

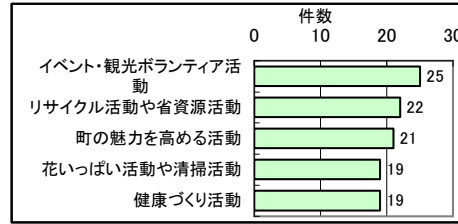
- 全体では、「花いっぱい活動や清掃活動」(282件)、「リサイクル活動や省資源活動」(233件)、「自然保護・愛護活動」(204件)が200件を越え、「交通安全・防災・防犯活動」(171件)、「福祉ボランティア活動」(163件)、「町の魅力を高める活動」(149件)、「健康づくり活動」(142件)といった意見が続きます。
- 性別では、男性は「自然保護・愛護活動」(112件)、「花いっぱい活動や清掃活動」(104件)、「リサイクル活動や省資源活動」(97件)の順で、女性は「花いっぱい活動や清掃活動」(178件)、「リサイクル活動や省資源活動」(136件)、「福祉ボランティア活動」(103件)の順となっています。
- 年齢別では、10代、20代の若年層で「イベント・観光ボランティア活動」、30代で「児童・青少年の育成活動」、40代以上で「花いっぱい活動や清掃活動」などへの参加意欲が強いです。また、全年代で、「リサイクル活動や省資源活動」への参加意欲が比較的高いです。
- 地区別では、全地区で「花いっぱい活動や清掃活動」が最も多く、「リサイクル活動や省資源活動」が続きます。3番目に多くあげられるのは、田上南地区・田上北地区・羽生田北地区で「自然保護・愛護活動」、川通地区で「福祉ボランティア活動」、羽生田南地区で「町の魅力を高める活動」となっています。



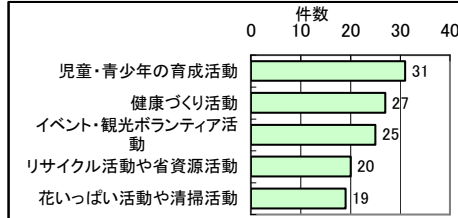
(10代)



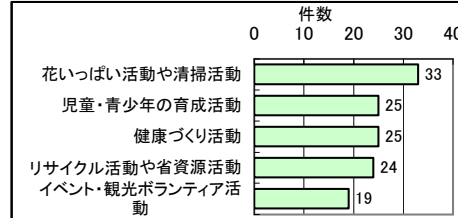
(20代)



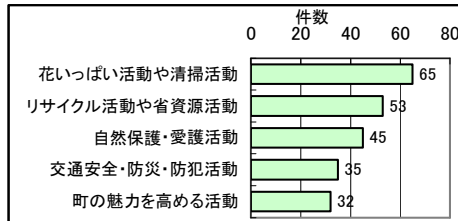
(30代)



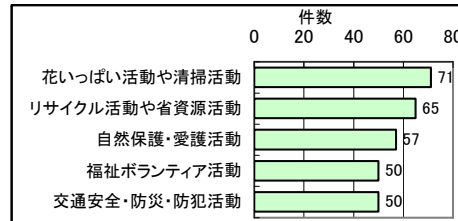
(40代)



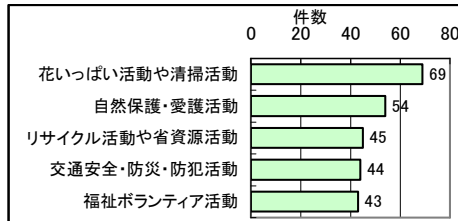
(50代)



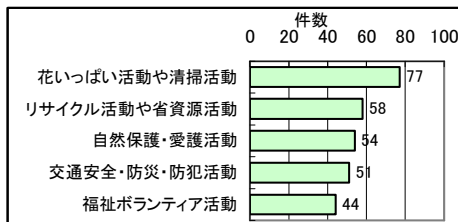
(60代)



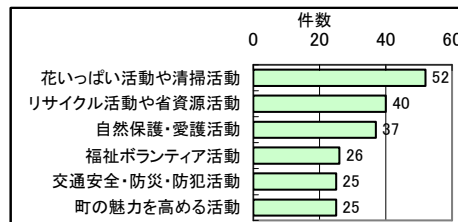
(70代)



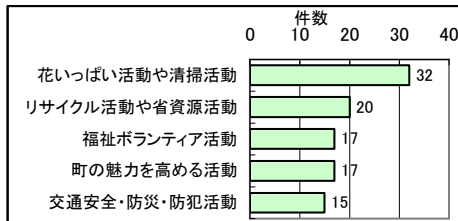
(田上南)



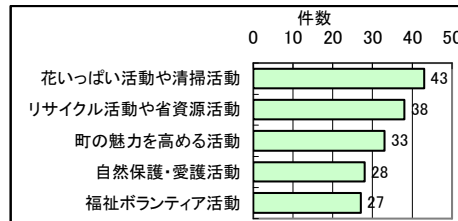
(田上北)



(川通)



(羽生田南)



(羽生田北)

